

2025 年 9 月 3 日

報道機関 各位

「長崎大学 災害復興学セミナー」を福島県浜通りで開催

長崎大学 福島未来創造支援研究センター（センター長 高村昇教授）では、今年度も災害復興学セミナーを開催いたします

このセミナーは、2011 年 3 月に福島県で発生した東京電力福島第一原子力発電所事故対応の経験をもとに放射線被ばく健康影響とリスクコミュニケーション、廃炉や処理水、被災自治体の教訓など、原子力災害の重要なトピックを、福島県の浜通りを拠点として学んでいただきます。

報道機関各社様には、ぜひご取材いただき、これからを担う学生が学ぶ姿を広く発信していただきたくどうぞよろしくお願いいたします。

▶セミナー概要

- ・対 象：長崎大学、福島県立医科大学、東日本国際大学等の大学生および社会人
- ・方 法：現地対面。一部プログラムはオンライン配信を行ないます。
- ・参加費：無料
- ・会 場：添付スケジュール参照
- ・日 時：9 月 7 日～11 日 9：00～16：00 ごろ
- ・主 催：長崎大学福島未来創造支援研究センター



[写真は、昨年の“住民との意見交換会”の様子（今年は9月10日14時45分～いわなの郷で開催予定）]

▶内容 詳細は添付スケジュールを参照ください。

以下は、現地での対面開催に加え、オンライン配信も行うプログラムです。

■9月9日（火）

災害・被ばく医療科学サマーセミナー（オンライン配信プログラム チラシ添付）

①9:40～10:40「被ばくと健康、クライシス・リスクコミュニケーション」

講師：高村昇（長崎大学教授）

②10:50～11:50「除去土壌についての理解」

講師：佐藤努（北海道大学 教授）

・受講申込について

既に受講者対象者の申し込みは締め切りとなっていますが、関心のある方は下記までお問合せ下さい。

▶取材申込について

取材を希望される場合は、事前に下記までご連絡をお願いいたします。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学

福島未来創造支援研究センター E-mail : rscff_nu@ml.nagasaki-u.ac.jp 095-819-7098

2025 年度 夏季集中セミナー：地域から学ぶ復興学セミナー

日付	時間	所要時間	場所	所属	講師名	講義・演習内容
9月7日(日)	15:30-16:20	50分	請戸小学校震災遺構	請戸小学校震災遺構	松永 准教授	請戸小学校震災遺構見学
	16:40-17:30	50分	道の駅なみえ研修室	道の駅なみえ		自己紹介(道の駅なみえ)
9月8日(月)	9:00-10:40	100分	東日本大震災・原子力災害伝承館	東日本大震災・原子力災害伝承館	高村 昇 教授	東日本大震災・原子力災害伝承館見学(語り部)
	11:15-12:15	60分	東京電力廃炉資料館	東京電力廃炉資料館	東京電力社員	東京電力廃炉資料館見学
	12:15-12:55	40分	東京電力廃炉資料館会議室			福島第一原子力発電所の処理水について
	12:55-13:25	30分			—	FIの廃炉・見学についての概要説明
	13:25-13:55	30分				昼食(お弁当)
	13:55-17:00	180分	東京電力福島第一原子力発電所	東京電力福島第一原子力発電所	東京電力社員	東京電力福島第一原子力発電所見学
9月9日(火)	9:30-9:40	10分	Linkる大熊	長崎大学	高村 昇 教授	参加者:教員の紹介
	9:40-10:40	60分		北海道大学		開会のあいさつ・被ばくと健康、クライシス・リスクコミュニケーション【課題提示】
	10:50-11:50	60分		—	佐藤 努 教授	除去土壌についての理解
	11:50-13:00	70分		—	—	リンクルフードコート/大熊食堂にて昼食(各自)
	13:20-14:50	90分	大熊インキュベーションセンター(OIC)	Re Fruits 株式会社 Oriai	阿部翔太郎さん 谷田川佐和さん	インキュベーションセンター見学・若い移住者の講話
	15:05-15:45	40分	クレバ大熊	長崎大学・JAEA	松永・JAEA 職員	長崎大学のリスクコミュニケーションと線量評価/食品検査
	16:00-16:40	40分		JAEA		食品検査の実際と内部/外部被ばく検査について
9月10日(水)	8:45-11:15	150分	クレバ大熊	中間貯蔵事業情報センター	中貯講師	中間貯蔵施設見学
	12:20-13:20	60分	いわなの郷	—	—	昼食(カレー)
	13:20-13:30	10分		川内村	遠藤村長	これからの福島を担う若者に学んで欲しいこと(VOD)
	13:30-14:30	60分			井出 寿一 氏	川内村の原子力災害からの復興
	14:45-16:50	125分			川内・大熊・双葉・富岡町村住民	住民の方々との意見交換会(被災体験・その後の生活)
9月11日(木)	9:30-11:40	130分	Linkる大熊	長崎大学	高村 昇 教授	【課題】グループディスカッション・グループ発表・まとめ(10:20-10:30 休憩)
	11:40-12:00	20分		東日本国際大学・いわき短期大学		紙芝居披露会
	12:00-13:00	60分	—	—	—	リンクルフードコート/大熊食堂にて昼食(各自)

色付き(ピンク)が取材いただきやすいコンテンツ、赤字が学生がグループワークを行うコンテンツになります。

2025年度

災害・被ばく医療科学 サマーセミナー

本セミナーでは東京電力福島第一原子力発電所事故の経験や教訓をもとに、放射線被ばく健康影響やリスクコミュニケーション、原子力災害からの復興と除去土壌について学びます。

開催日時

9/9 火

対象

原子力災害や被ばく医療に興味、
関心のある学生や教員など

参加費

無料

開催方法: オンライン (Webex)



セミナープログラム

9:40~10:40

被ばくと健康、 クライシス・リスクコミュニケーション

講師: 長崎大学教授 高村 昇



高村 昇氏 プロフィール

長崎大学医学部を卒業後、同大学院医学研究科博士課程を修了。同大学医学部助手、講師、准教授を経て、2008年に原爆後障害医療研究所教授に就任。現在は東日本大震災・原子力災害伝承館・館長、福島大学環境放射能研究所・副所長などを務める。2025年よりF-REIの原子力災害医学科学ユニットリーダーに就任。趣味は、読書・音楽鑑賞・ジョギング・釣り。

10:50~11:50

除去土壌についての理解

講師: 北海道大学教授 佐藤 努



佐藤 努氏 プロフィール

早稲田大学理工学研究科、資源および材料工学専攻を修了後、日本原子力研究所研究員、金沢大学理学部助教授等を経て2011年4月に北海道大学工学研究院教授に就任。現在は国際粘土研究協会理事、日本粘土学会会長などを務める。北海道大学では、資源循環材料科学研究室で放射性廃棄物処分における人工バリア材料の長期的性能評価等の研究や二酸化炭素のネガティブエミッション技術の研究を手掛ける。趣味は、グルメ探訪・野球観戦・ミュージカルとクラシックコンサートの鑑賞。

申込方法

申込は右記URL又は二次元コードの
Web申込フォームよりお申し込みください。

申込締切: 8月18日(月) 17時 まで

申込フォーム

<https://forms.office.com/r/0c6awavNKh?origin=lprLink>



主催 長崎大学 福島未来創造支援研究センター

〒852-8523 長崎市坂本1-12-4 [TEL] 095-819-7098 [Email] rscff_nu@ml.nagasaki-u.ac.jp